

## 5 今年度の重点課題（学校アクションプラン）

### 2021年度 富山北部高等学校アクションプラン - 1 -

重点項目	学習活動	
重点課題	家庭学習習慣の確立と授業力の向上	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力が不足しており、加えて教科ごとの学力に不均衡が目立つ。</li> <li>自己の進路に明確な目標を持つ時期が遅い。また、生徒の進路希望が幅広く多岐にわたっている。</li> <li>予習復習を中心とした家庭での学習が習慣化されておらず、学習に対して取り組みが不十分である。</li> <li>今年度中には生徒1人1台タブレットPCが配備される予定である。これに備えてより一層ICT機器を活用した効果的な授業法を研究していかなければならない。若手教員を中心にICTを活用した授業が増えているが、そのノウハウを教職員間で共有していく必要がある。</li> </ul>	
達成目標	<b>① 家庭学習習慣の確立</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習実態調査で家庭学習を2時間以上行う生徒の割合が70%以上。</li> </ul>	<b>② 授業力向上</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間1回以上、互見授業に参加する。</li> <li>ICTを活用した授業研究に取り組み、互見授業や研修会等を実施する。</li> </ul>
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>記名式の調査を年間5回程度行い、学習・生活実態を把握する。また、調査結果を分析し、生徒面談、保護者会、学年集会等とおして生徒の学習意欲を喚起するとともに、教科、学年、家庭と連携をとりながら効果的な方策をたてる。</li> <li>日々の課題、週末課題、小テスト、長期に及ぶ課題、休業中の学習課題などを工夫しながらバランスよく課すことで家庭学習習慣の確立と学習意欲の喚起を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>互見授業期間を1学期中間考査後と、2学期中間考査後に設定し、授業力向上、授業改善に努める。各自1回以上、互見授業を実施または参観することとする。</li> <li>各教科で指定授業を設定し、実施後は検討会を行う。</li> <li>ICT機器を活用した課題提示の内容や方法等について工夫している点を相互に学び合い、各自のスキル向上を図る。</li> </ul>

（評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった）

### 2021年度 富山北部高等学校アクションプラン - 2 -

重点項目	学校生活	
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の定着および「自覚と責任」を持たせる生徒指導の充実</li> <li>思春期のライフスキルの育成</li> </ul>	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣、交通安全・マナーが身につけていない生徒が見られる。</li> <li>SNS等の適切な利用、正しい知識が不足している生徒が見られる。</li> <li>規範意識の希薄な面があり、「自ら律する」指導を充実させる必要がある。</li> <li>校内で清掃が行き届いていないところがある。</li> <li>より良い人間関係を築くためのコミュニケーション能力や言語能力が不足している生徒が見られる。また、カウンセリング技法やクラスづくりの指導法などについて、教員同士の交流や研修を行う必要がある。</li> </ul>	
達成目標	<b>① 登校指導、頭髪・服装指導の充実</b> <p>1日遅刻平均0.5人を下回る。 （但し、通院による遅刻を除く）</p>	<b>② 清掃の強化</b> <b>③ コミュニケーション能力の育成向上</b> <p>学校が綺麗になったと感じる生徒やコミュニケーションがうまくとれていると感じている生徒の割合が80%以上</p>
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の定着、交通安全意識・マナー、規範意識の向上を目指し全職員一丸となり、登校指導、昼の校内外巡視、頭髪服装指導を実施する。</li> <li>スマートフォン・インターネット安全教室や交通安全講話を実施する。</li> <li>あらゆる教育活動を通じて、「自ら律する」姿勢を育て、「自覚と責任」を持たせるように指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月一回程度、保健委員による清掃チェックを行い、その結果を発表する機会を設けるなどして、清掃に対する意識を高める。</li> <li>各学年や関係機関と連携を密にしながら、個別カウンセリングを継続的に実施し、生徒の心身の健康を保持する。</li> <li>クラス内の人間関係づくりについて、教職員のスキルアップを図るために、カウンセリング技法などの交流・研修の機会を設ける。</li> </ul>

（評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった）

**2021年度 富山北部高等学校アクションプラン - 3 -**

重点項目	進路支援	
重点課題	進路意識の向上と進路実現に向けた進路指導	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己や社会に対する認識が不十分である。</li> <li>将来の職業や生き方について考え、今は何をすべきか先を見通して実践することが難しい。</li> <li>進路目標達成のため、学習時間や学習量を確保できない生徒が多い。</li> </ul>	
達成目標	①進学 進路指導に対する満足度	②就職 進路指導に対する満足度
	90%	90%
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の生徒の適性や能力を詳細に把握するとともに、生徒自身にも自覚を持たせる。</li> <li>将来設計に基づいた進路指導を行い、的確な進路情報の提供や生徒の学力分析、教員との面談を実施する。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>進学ガイダンス・学校見学・進路調査・講演会等を通して、進路目標を早期に設定させる。</li> <li>教科補習、外部模試等を通して、学力の向上方策を各分掌と連携して継続的に実施する。</li> <li>担任を中心とした個別面接を通して進路指導を行うと同時に、全教員で面接指導や小論文指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職ガイダンス・学習会を実施し、自己の興味・関心や能力・適性の理解に努め、職業意識を高める。</li> <li>就職試験の準備に早期に取り組むと同時に、内定後も職業人としての意識を高めるよう指導する。</li> <li>教師の会社訪問を通して、卒業生の状況や求人情報の収集に努める。</li> </ul>

(評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった)

**2021年度 富山北部高等学校アクションプラン - 4 -**

重点項目	特別活動	
重点課題	諸活動を通じ、自ら考え、自ら行動する姿勢の育成。	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味関心や自分に責任があることには積極的に行動するが、周囲のためになる自発的な行動、愛校心や学校をより良くしていこうという意識には、物足りなさを感じる。</li> <li>地域のことについて興味が薄いので、地域での活動に参加を促す。</li> <li>課題解決に本を利用するなどの読書習慣が充分身についていない。</li> <li>昨年度の一人あたり貸し出し冊数 2.09 冊 (1月末) は前年同期比で 1.31 ポイント減。</li> <li>昨年度来館者数 4099 人</li> </ul>	
達成目標	①生徒会行事満足度	②一人あたり貸し出し数及び来館者数
	90%以上	3.00 冊 4800 人
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種行事において、生徒会を中心に一般生徒が積極的に参加できる体制を作り、責任感を持って活動できるよう配慮する。</li> <li>学校行事を通して愛校心を育むよう工夫する。</li> <li>集会時の整列を自分たちで行い自立を促す。</li> <li>学校主催のボランティア活動をより自主性を持って参加させ、地域の一員であるという意識を持たせる。</li> <li>地域の行事等に部活動の一環として協力するなど、地域の諸活動への参加を促す。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科との連携を深め、課題解決学習での図書の利用、進路に関わる図書の利用等図書部のレファレンス機能を向上させる。</li> <li>映画、TV等のメディア情報を取り入れる等生徒の興味関心を調査し応えていくことで読書への関心を高める。</li> <li>校内の広報活動の充実や読書環境の整備を積極的に行い魅力ある図書館づくりに努める。図書委員会の活動を充実させ、イベント企画を工夫し参加しやすいものにするなど、一般生徒が図書館に足を運ぶ機会を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科との連携を深め、課題解決学習での図書の利用、進路に関わる図書の利用等図書部のレファレンス機能を向上させる。</li> <li>映画、TV等のメディア情報を取り入れる等生徒の興味関心を調査し応えていくことで読書への関心を高める。</li> <li>校内の広報活動の充実や読書環境の整備を積極的に行い魅力ある図書館づくりに努める。図書委員会の活動を充実させ、イベント企画を工夫し参加しやすいものにするなど、一般生徒が図書館に足を運ぶ機会を増やす。</li> </ul>

(評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった)

2021年度 富山北部高等学校アクションプラン - 5 -

重点項目	その他	
重点課題	学校、保護者、社会における相互の協力と情報共有の促進	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 育友会の活動があまり周知されていないとする指摘が若干の会員から寄せられた。</li> <li>・ 多くの家庭で共働きやパートなどによる生計の維持が見られ、また他校のPTA役員を兼ねている家庭もあることから、活動を負担と感じている保護者が多く、会合に参加されない方もおられる。</li> <li>・ PTA 各行事への一般会員の参加が少ない。</li> <li>・ 生徒を通じてPTA 行事の案内をしているが、保護者に届かない場合がある。</li> </ul>	
達成目標	① 行事や活動への満足度	② PTA会報『いくゆう』の閲覧
	参加者の満足度：80%以上	全会員の90%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者の負担感を少なくするような育友会活動にしていく必要がある。</li> <li>・ 役員間の連絡を密にして、各会合への参加を促すとともに、参加しやすく話しやすい持ち方を検討する。</li> <li>・ 育友会主催の行事や活動について、参加者の満足度が高くなるように心がけることで、育友会活動に参加することの意義や理解を深める。</li> <li>・ 学校のホームページや教育安全メールなどを利用して活動を積極的に発信する。</li> <li>・ 『いくゆう』は読みやすい誌面を工夫し、会員に直接手交する。</li> </ul>	

(評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった)